

特別な支援が必要な子どもを、周囲の大人と一緒に生活する子ども同士が正しく理解することで、適切な指導と必要な支援につなげます。

インクルーシブ教育システムの構築について

本市では、インクルーシブ教育システムの構築で求められることを「相互理解(共に学ぶ)」と、「一人一人の学びの充実(生きる力の育成)」と捉えました。通級による指導を受ける、ことばの発達に課題がある子どもを中心に、特別な支援が必要な子どもたちの指導・支援に、「スクールクラスター(地域内の教育資源の組合せ)」を効果的に活用するための体制づくりを行いました。

子どもの発達段階や実態に応じて、その時々に必要な機関や人材がチームを組んで協働することで、効果的な支援につながります。

専門性を深める研修

市主催の研修会や、総合支援協議会主催による研修で、特別支援学校・市内言語聴覚士・発達支援センターなど、地域資源を活用しました。



出前講座

ことばの教室への理解を深めていただくためのリーフレットを作成しました。

市内ことばの教室担当者が、近隣小学校に出向き、理解を深めるためのミニ講座を行いました。



そこで、子どもたちが持つ様々な困難さに対して、「理解」「つながり」「学びの充実」という3つの視点で、これまでの実践内容をまとめることにしました。

チーム支援会議

きこえやことばの発達に課題があるため、通級による指導を受ける子どもへの合理的配慮は、在籍する学級でも重要になります。子どもの教育的ニーズにこたえるために、連続する学びの場をつなぐ学校支援コーディネーターを配置しました。両校間の連携を図り、保護者の相談を受け、関係する教育資源が集まるチーム支援会議で必要な合理的配慮を検討しました。学校支援コーディネーターの存在により、両校での課題が明確になり、指導・支援の充実が図られました。



市総合支援協議会療育支援教育部会

佐倉市では、相談支援事業所・児童発達支援センター・教育委員会・障害福祉課・子育て支援課・健康増進課・児童青少年課・親の会などの担当者が、年6~7回集まり、支援体制づくりについて話し合ったり、市民や関係者向けの研修会を開催したりしています。また、早期支援チーム会議も位置づけ、関係機関が、早期から特別な支援が必要な子どもの実態を理解し、適切な支援につなげられるようにしています。



それぞれの支援は、年齢や内容によって管轄が異なります。担当者同士が顔を見て、名前を呼んで対応できるようになったことで縦と横の連携が進んでいます。

理解啓発授業の実践(子ども同士の理解)

聞こえ方で困難さがある子どもがいる学級では、理解啓発のための体験授業を実践しました。実際に体験してみることで、相手の大変さが分かり、不便さを改善するためには協力しようという内容の感想がたくさんありました。



教職員理解体験研修の実践

見え方で困難さがある子どもが入学してくることを前提に、全教職員による体験研修を、千葉盲学校の先生が実施しました。見えにくいことへの不安や困難さを先生方が理解していることは、その後の支援にとっても大切です。千葉盲学校から、継続的な指導・助言をいただいています。



個に応じた指導の計画

個別の指導計画、個別の教育支援計画、応援計画などに、チーム支援会議で話し合った合理的配慮を示すことで、それぞれの支援内容が明確になりました。

また、指導・支援の連続性を確保するために、佐倉市ライフサポートファイルの活用も図っています。



幼小中学校間の協働体制と引継ぎ

合理的配慮が必要な児童が中学校に進学する際に、進学予定中学校の特別支援教育コーディネーターが小学校での授業を参観し、予想される合理的配慮について、関係者でチーム支援会議を持ちました。早い段階で子どもの実態を知り、入学後の配慮事項を小中学校が一緒に考えることにより、手厚い準備が進められます。

押さえておきたい用語

ことばの教室

ことばの発達に課題のある子どもを対象に、実態に応じた指導を、個別の場で行う教室です。市内4校とも、通級の形態をとっています。

居住地校交流

特別支援学校に通う子どもが、自分の住んでいる地域の小中学校等と一緒に学習を行います。相互理解を進めるうえでとても重要な活動です。

スクールクラスター

特別な支援が必要な子どものニーズにこたえるための地域内の教育資源の組合せをして、連続的に学びの力を培います。

応援計画

子どもの現在の課題と、改善のための手立てを記した佐倉市独自の指導計画です。作成が簡易でめあてが明確になります。

特別支援学校のセンター的機能

特別な支援が必要な子どもに対応する際に、指導計画の立て方、教材の在り方、指導方法などについて特別支援学校の先生方が専門的な指導・助言をさせていただきます。活用の要望は教育センターまでご連絡ください。